

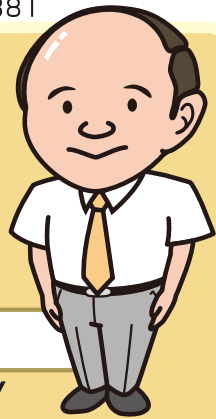


西野まさひと

活動報告 NO.27

ハッキリ言います! 市政にひとこと!

[ホームページもみてね!] <http://www.nishino1.com/>



■ 西野まさひと友の会では平成24年日野市4月議会の内容と、平成24年度予算、平成23年度馬場市政の主な成果について報告致します!



議会運営委員会委員長に就任!

平成24年第1回定例会が2月29日より3月30日まで開会されました。市議会選挙から2年が過ぎ正副議長選挙が行なわれ議長に秋山薫議員(民主連合)、副議長に中野昭人議員(日本共産党日野市議団)が就任されました。また、各委員会人事も行われ、私は常任委員会では、環境まちづくり委員会委員となりました。また、若輩ながら議会運営委員会委員長、議会改革特別委員会委員長の重責を努めることとなりました。

今回の議会は、平成24年度の一般・特別会計予算案の審議も行われ、一般会計予算においては、前年度比3.2パーセント17億8千万円減の総額517億円となり、引き続き税収が落ち込む大変厳しい予算となりました(詳細は2頁にて)。通常、一般会計予算案に対する意見は会派ごとに代表が行いますが今回は私が代表して賛成の意見を述べさせて頂きました。また、一般質問においては、①「自助・共助・公助のまちづくりについて」②成人式のあり方についての2問の質問をさせて頂きました(詳細は3頁にて)。

日野市でも被災地支援

さて、東日本大震災が起きてから1年が経過しました。被災地に

おいての復旧・復興はまだ依然としてなされていないのが現状と想います。その中の一つの要因として、災害廃棄物の処理が進まない事があげられます。日野市においては、宮城県女川町の災害廃棄物を年1400トン受け入れることとなりましたが、今回この受け入れに反対する陳情がありました。その内容は放射能で災害廃棄物が汚染されていて焼却をすると影響が出て危険であるという内容でした。災害廃棄物の受け入れや焼却灰に対しては、当然放射能の測定が義務づけられています。この問題は、災害廃棄物処理の問題を原発反対運動に結びつけるもので、本来切り離して考えなくてはなりません。私たち自民クラブ初め公明党、民主連合はこの陳情を不採択としました。女川町の人がこのことを聞いたらどのように思うのでしょうか。

現在議会改革が進められています。6月議会から請願者が委員会にてその趣旨などを説明できる機会が設けられました。それによつて、各常任委員会が1日1常任委員会の開催となり、議員含め市民の皆様も全ての常任委員会の傍聴が可能となりましたので是非傍聴して頂きたいと思います。

日野市議会議員 西野正人

約29億円の税収減！厳しい財政

昨年度と比較して17億円減の51億8千万円の予算となりました。歳入における税収は、個人市民税が約2億2千万円の増、法人市民税が約1億8千万円の減、そして固定資産税が評価替のために平成21年度より平均14パーセント下落した関係で約5億5千万円の減、それに伴い都市計画税も約6千8百万円の減と昨年と比較すると約5億4千万円減、平成20年と比べると約29億円の税収減となっています。また、平成22年度決算において7年ぶりに地方交付税交付団体となり、今年は16億7千万円を見込むと共に、臨時財政対策債により借入れを19億9千万円としました。それにより財政調整基金からの繰入金是最小限とし、災害発生時のときのために約24億円を基金として残し、将来に負担を残さない「持続可能な予算」となっています。

歳出では、市民評価システムに基づき色々とところで事業経費の削減を行いました。しかし、予算付けをしなくてはならないところには配慮した歳出になっています。

■市民要望に応じた絞り込んだ予算

民生費では、(仮称)発達支援センター建設に伴い約1億8千万円、保育所待機児解消のため日野わかば保育園建設補助金として約2億円、また、生活保護費においては一般財源にて約8億4千万円の予算となっています。衛生費では、日本脳炎予防接種、高齢者肺炎球菌予防接種、乳がん・子宮がん検診受診率向上など予防に対する予算がなされています。商工費では、工業みえる化事業経費が計上され、日野市内における中小の工業振興が図られます。教育費では、色々なところで経費の節減がなされましたが、極力配慮した予算となっています。残念ながら市民評価において抜本的な見直しが必要とされている事業においては、まだ昨年度と同様に予算付けがなされているのが現状です。

一般会計歳出517.8億円

款 区 分	平成24年度当初	増減率%
議 会 費	4億2739万円	-13.0
総 務 費	46億3666万円	-12.2
民 生 費	262億7215万円	5.0
衛 生 費	46億9386万円	1.9
労 働 費	6064万円	-0.4
農 業 費	1億8759万円	97.2
商 工 費	2億9238万円	-20.0
土 木 費	40億3997万円	-13.4
消 防 費	20億6783万円	-2.8
教 育 費	56億2266万円	-22.8
公 債 費	33億6078万円	1.1
諸 支 出 費	8803万円	-32.3
予 備 費	3000万円	0

前年度比
3.2%減
約17億円の減額

昨年度比
約12億5千万円
増額!

特別会計480.4億円

会 計 名	平成24年度当初	増減率%
国民健康保険	171億3289万円	3.7
土地区画整理事業	38億1563万円	-10.3
下水道事業	50億8563万円	2.3
介護保険	103億7699万円	10.6
後期高齢者医療	32億1783万円	8.9
病院事業	84億1479万円	2.4

前年度比
3.7%増
約17.3億円の増額

昨年度比
約9億9千万円
増額!

■今年度の注目! — 主な事業

■本庁舎耐震診断業務 614万円



■50年ビジョンプロジェクト推進事業 60万円

■(仮称)発達支援センター開設 1億8231万円



(仮称)発達支援センター
かしの木荘跡地に開設予定



しんさかした保育園
耐震工事予定

■しんさかした保育園耐震工事 279万円

■日野わかば保育園建設費補助金 2億17万円

■高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種 409万円

■各種健診 1億2047万円

子宮がん・乳がん・大腸がん
骨粗しょう症・肝炎ウィルス
各種がん
胃がん・肺がん・大腸がんセット

■工業みえる化推進事業 4300万円

■高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種 409万円

■旭が丘小学校トイレ改修工事 4054万円

■仲田小学校校庭用地購入費 6750万円

自助・共助・公助で小さな行政へ転換を！

質問
16-1

行政・市民・企業・各団体は団結を！

「自助・共助・公助」のまちづくりについて問う

日野市を取り巻く環境は厳しさを増しています。市の事業にもその有益性を加味し、縮小や廃止も検討しなければならぬ状況です。それは一般会計の約半額を占める民生費、つまり福祉の分野も聖域ではありません。豊かさを享受している今日、市民要望は多種多様化し、要望が叶わなければ、ダメな市長、ダメな議員とされてしまいます。市民が主役のまちづくりが本来にすべてよいのか、疑問に思うときもあります。なぜなら、何かをしてもらう要望の声が大きく、何かを切り詰めようという声は小さく、敬遠されがちです。

かつてのごみ改革では、馬場市長が先頭に立ち、市民への説明をし、市民を動かした、市民とともに取り組み大きな改革をなしたと思います。今は、ごみ改革以上の試練ではないでしょうか。行政・市民・企業・各団体が一つになって未来に進まなければならぬと考えます。

「自助・共助・公助」のまちづくりについて、市の基本的な認識や、防災・福祉・教育・商工業・健康施策・市民への意識改革についてそれぞれの分野での取り組みについて質問をし、さらに市長の考えをたどりました。

聖域無く
事業の再検討
・再検証を！



市長答弁

●自助・共助・公助のまちづくりは、市民の意識が一番の基本になると思います。

私たちは、これまで民主主義の社会をずっと享受してきて、みんなが自主的に運営してきたつもりになっていますが、上り坂の経済時にはこれでもよくても、経済が継続的に下がって行く状況では、いままでも同じスタンスでいいのかと問わねばならないと思います。

民主主義というのは、一番いい制度をつくっているわけではなく、一番悪くない制度であるという認識をみんなが持つこと、みんなが考えが違う中で、答えはつしかなければ、それぞれが我慢をすることが必要です。それでは嫌だと、多くの人が言い出せば民主主義を壊してしまうことがあり得ることを、我々は歴史を通じて学ばなければならぬと思います。市長や議員がやればよいという問題ではなく、それぞれが負担して行く覚悟が必要だと思っています。

ごみ改革の時のように、市長が率先してまちに出て、今の状況について語るべきとの声も頂いておりますし、必要ならそうしなければならぬと考えています。

公民としての意識をもち、国よりも先に我々基礎自治体が、身近な範囲でそういう仕掛けを作り上げ、だんだんと上に上げて行くことが、これからの民主主義の成熟にとって、大切な時期と考えます。

地方自治体で
公民協働の体制
づくりを！



市長答弁

●南三陸町の場合、恐らく訴えを起こしたご家族も、訴えられた町長さん、あるいは一緒にそこにいて生き残られた職員のみなさんもうらい立場であろうと思います。

日野市では、例えばこの本庁舎で、耐震補強をやるようにと市民が言っていた、議員も言っていた、市長がやらなかったんだと。そして、本庁舎がつぶれ大勢の方が亡くなり、私が生き残ったというような状況になれば、訴えられても甘んじて受けなければならぬと思います。本庁舎については、ようやく耐震診断までは取り掛かりましたが、具体的に工事を行うことが出来るかどうかは、厳しいところです。ただこれについては、全責任は市長が一人で負わなければいけないと認識しております。

あつぱれ

質問
16-1

被災時の市長の責任について

「自助・共助・公助」のまちづくりについて問う

「自助・共助・公助」のまちづくりの関連質問で、防災に対する取り組みをたずねました。その中で、日野市が教訓として学ばべきことが、東日本大震災の左記の事例にあると考え、市長に質問いたしました。東日本大震災発災後、南三陸町では、防災対策庁舎にいた41人が津波にて犠牲になりました。町長が高台に避難をさせなかったためとして、町職員の2人の遺族が、業務上過失致死容疑で南三陸町に告訴状を提出しました。日野市では、学校の耐震補強は完了しましたが、庁舎を含め、まだ耐震化がなされていないものもあります。今後万が一、これらの施設で災害により市民または職員が被災した時に、市長が告訴されることも視野に入れておかなければならないと思います。市長の考えをたどりました。



基盤整備

四ッ谷立体が開通し、日野市を循環する3・4・8号線の整備が一層進捗しました。(地図中—線道路)

四ッ谷立体開通 3・4・8号線 開通



交通網整備

四ッ谷立体開通に伴い、地域要望を反映させ新たなバス路線が開設されました。

バス路線 開設!



地域交流

水と緑の 体験施設 開設

四ッ谷下東公園内に、地域の交流の拠点として「水と緑の体験施設」が開設されました。



日野市民の森 ふれあいホール オープン

健康・体育



日野市民の新たなコミュニティ・スポーツの拠点がオープンしました。

安心・ 安全

消防団詰所 開設・整備



移転が余儀なくなった第二分団第一器具置場と老朽化した第二器具置場を統合し、二階建てとし、街並にあわせた景観としました。

特別養護 老人ホーム シンフォニア 開設支援

高齢者 介護



特別養護老人ホーム「シンフォニア」(82床個室ユニット型)の開設支援を行いました。

民間保育園 至誠いしだ 保育園開設 支援

子育て支援



待機児ゼロを目指して、「至誠いしだ保育園」(定員100人)の開設支援を行いました。

一小北側 用水路・歩道 整備

魅力ある 街づくり



魅力ある街づくりを目指して行われた「日野用水上堰の開渠」の延長線にあたる、一小北側の用水路と歩道の整備を行いました。